

放課後等デイサービスガイドラインに基づく自己評価（2024年度）

放課後等デイサービスの支援の質の向上を図るため、「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき2024年11月に実施した自己評価の結果を下記の通り公表します。（アンケート回収率：保護者 60.0%、スタッフ 100%）

1-1. 保護者アンケートの結果

	保護者アンケートからの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	『職員の配置数や専門性は適切ですか』については配置基準を満たしているものの、「スタッフの入れ替わりがあり、継続した相談、関わりが難しい」というご意見もいただきました。その他は概ね高い評価をいただいておりますが、『適切な活動スペースの確保』については「どちらともいえない」が2件あり、曜日や活動プログラムによって不足を感じている方もいらっしゃいました。	スタッフ体制については、法人内で協力体制を得ながら子どもたちへの支援や保護者対応が丁寧に行えるように心がけます。活動スペースの確保については、地域行事がある時など、一時的に活動スペースが狭くなることがあります。活動内容を工夫しながら、できるだけ安全快適に活動できるようにしています。
適切な支援の提供	『活動プログラムの工夫』については、活動内容の固定化を感じられている方もおられました。決まった曜日に通所されることで、また『地域やボランティア、他団体との交流』については、さまざまに交流の場面を感じていただいている一方、子どもたちの地域交流に関しては、通所児が安心して活動できないことに対する懸念の声もいただいております。地域食堂や音楽コンサートなどの法人全体の地域行事も参加を楽しみにしてくださっている方が増えてきています。	子どもたちの思いに沿って、できるだけ主体的な活動ができるようにしています。外出プログラムやクッキングなど主な活動予定を予定表でお知らせすることで、通所を楽しみにできるよう引き続き工夫していきます。地域交流については、今後も子どもたち同士の関係を深めながら、障がいの程度や有無をこえてつながり成長を応援できる場でありたいと思います。そのために、適切な環境、人数等で行えるよう必要に応じて環境調整もできるようにしていきます。
保護者への説明責任等	概ね高い評価をいただいております。『日ごろの状況、発達状況や課題の共通理解について』『苦情に対する対応について』は「どちらともいえない」「よくわからない」との回答もありました。保護者交流については、昨年度は「もう少し機会を増やして欲しい」というご意見がありましたが、今年度は地域行事等に定期的に協力を呼びかけ参加していただいたこともあり、交流の機会の充実を感じていただけたようです。	苦情その他への対応体制については、契約時により丁寧に説明をし、万一苦情をいただいた際にはスタッフ間で共有すること、迅速に対応する様努めます。また送迎時の活動報告や懇談を通して日ごろの活動の様子やご家庭での様子を伝え合うこと、困りごと等について共に考え取り組んでいく姿勢を大切にしたいと思います。
非常時等の対応	概ね高い評価をいただきました。	火災、地震、水害について避難訓練を行いました。またその際の連絡対応など保護者も含め参加いただきました。
満足度	『お子さんは通所を楽しみにしていますか』については、「いいえ」が1件、「どちらともいえない」が5件ありました。また『事業所の支援に満足していますか』は「どちらともいえない」というご意見が3件ありました。	お子さんの発達支援の場として、安心して楽しく通所できるよう、活動環境を整えるよう努めます。また日常的な保護者とのやりとりをもとに、ともに子どもたちの成長を応援できるようにしていければと思います。子どもたちの主体性を大切に、様々な人との交流や社会力の形成等、子どもの育ちを応援していきたいと思っています。

1-2放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名：こども発達支援センターきつ組 保護者等数（児童数）35人(36人) 回収数21人 割合60.0%

	確認項目	はい	どちらともいえない	いいえ	よくわからない	ご意見	ご意見をふまえた対応等
1	お子さんの活動スペースは十分に確保されていますか	18	2		1		設置基準以上の面積を確保しています。地域交流で多くの子どもが集ったり、地域行事がある時には、狭さや危険も感じるため、適宜仕切りや園庭活動も取り入れながら活動のスペースを確保し、心地よく過ごせるよう工夫をしています。
2	職員の配置数や専門性は適切ですか	12	8		1		人員配置基準を満たして活動していますが、スタッフの退職や異動もあり、継続的なスタッフの関わりが難しいのも現状です。充実した活動が継続できるよう拠点間の協力を得ながら活動していきます。
3	事業所の設備等は、手すりの設置、見てわかる表示などの配慮がされていますか	19			2		バリアフリーについては十分でない箇所もありますが、必要に応じて子どもにも分かりやすいように、使い方等を絵も用いて表示を行なっています。
4	お子さんと保護者の思いや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画*1が作成されていますか	20			1		毎年度、社会力と基本的な生活習慣についての評価を行い、ご家庭での様子や保護者の思いの聞き取りと合わせて、個別支援計画の立案をしています。
5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されていますか	16	2	1	2		子どもたちの主体性を大切に、活動プログラムを企画できるようにしています。今年度は季節行事の他、外出プログラムでの非日常的な体験やデイキャンプなどでの調理の活動なども行いました。
6	地域やボランティア、他団体との交流など、事業所外のお子さんや人たちと活動する機会が仕組みられていますか	21					わくわくきつ組(地域の子ども等との交流)を週一回実施するとともに 長期休暇期間には通所児のきょうだい児の受け入れを行いました。また地域行事にも通所児と参加しました。引き続きボランティアや子どもたちの育ち合いの場となるよう取り組んでいきます。
7	支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか	21					契約時に説明を行なっています。また問い合わせ等があれば随時対応できるようにします。
8	日頃からお子さんの状況について保護者と伝え合い、お子さんの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	20	1				懇談に加え、送迎時のやりとり、必要に応じて電話連絡等を通して丁寧な情報共有に努めます。
	確認項目	はい	どちらともいえない	いいえ	よくわからない	ご意見	ご意見をふまえた対応等

9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援は十分ですか	20	1			支援内容については日頃のやりとりや、年3回の懇談を通して、情報共有や見直しを行なっています。頻度は少ないですが、関心の高い事柄について保護者勉強会も行いました。
10	親の会の活動の支援や、保護者会、交流会、勉強会等の開催等により保護者同士の連携の機会がありますか	21				保護者交流会に加え、地域行事等に保護者の協力を呼びかけることで、交流の機会を設けています。
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されていますか	17			4	利用開始時に重要事項説明書等を用いて説明を行なっています。疑問や問い合わせがあった時にはその都度丁寧に対応していきます。また苦情解決にあたっては第三者委員会の設置を含め、法人内外で迅速に対応できるよう努めています。
12	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	18	2		1	送迎時の直接のやりとりを中心に、電話や保護者専用のメールを使って随時連絡が取れるようにしています。スタッフがメール連絡を見落とししていたなど、数回連絡が行き違ったことがあったため、メールチェックの方法を検討しています。
13	定期的に会報やホームページ、メール等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する評価の結果をお子さんや保護者に対して発信していますか	21				年2回の広報紙、毎月の活動予定表の裏面を使って、行事予定の周知や活動報告をしています。加えて活動中の写真の公開を定期的に行いました。活動の様子がわかりやすいと好評の声をいただきました。
14	個人情報の保護に十分注意していますか	21				全スタッフで個人情報の取り扱いについて確認しています。個人情報書類は施錠できる場所で管理をしています。
15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか	19	1		1	マニュアルを作成しスタッフで毎年確認、必要に応じて改定をするとともに、非常事態を想定した訓練を行っています。
16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	20			1	火災、地震、水害について一回ずつ訓練を行いました。緊急時の訓練メール、個人用避難袋の準備等で保護者にもご協力いただきました。
17	お子さんは通所を楽しみにしていますか	15	5		1	・外に出たがらないので通所日は憂鬱なようです。意欲がもう少し出てくれるといいです。 子どもたちの思いを大切に、活動を計画しています。毎月の予定表で、活動予定を記載し、見通しや期待感を持って通所してもらえるよう工夫しました。生活習慣の乱れや不安感等で通所に気持ちの向きづらいケースについて、スタッフの関わりや落ち着いた活動環境づくりを引き続き工夫しながら対応していきたいと思います。
18	事業所の支援に満足していますか	18	3			どちらともいえないとのこと意見も複数ありました。こうしたご意見について、日頃のやり取りや懇談等を通して引き続きご意見を伺いながら、子どもたち、保護者の方の気持ちに寄り添い、より充実した子どもたちの育ちの場を作っていきたいと思います。

その他、ご意見等ございましたらご記入ください。

- ・色々な経験をさせてもらえて大変ありがたく思っています。
- ・先生と子供が時間をかけて関係を築くことで子どもの特性をより理解していただくこともでき、親も悩みの相談などもしやすくなるが、なかなか先生が定着せずそれが難しい。面談の担当者も年ごとに変わることが多く、継続的な悩みの対応やその返還度を共有することができず日々悩んでいることなども気軽には話しにくくなり悩んでいます。
- ・わくわくきっずで地域の子どもと遊ぶ機会があるが、きっず組の子供達が圧倒されて楽しめていない様子があるので、ある程度ちゃんと関わり合いが持てるよう人数制限したり配慮がいると思う。